



骨密度測定装置を導入しました！！

骨密度の正確な測定で 骨粗鬆症を早期発見！



痛みなし、短時間、信頼の精度  
あなたの「骨」の健康を守ります！



- 検査台の上に寝転び、腰部・大腿骨部を撮影します！
- 検査は担当職員が丁寧にご案内します！

骨密度検査とは？

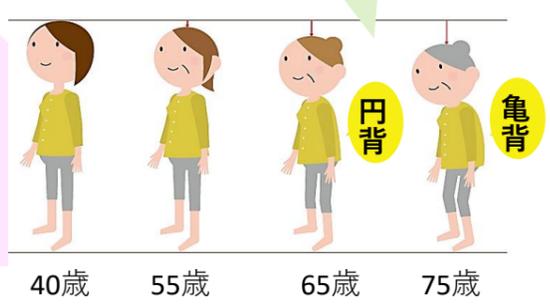
- 骨の強さを測るための検査です。
- 骨粗鬆症は骨密度が低下して骨がもろくなる病気で、自覚症状のないまま進行します。
- 骨密度が低下すると、**軽い転倒でも骨折になりやすくなります。**
- 太ももの付け根の骨折や、背骨の骨折は寝たきりや要介護の原因となります。
- 骨粗鬆症を早期発見・早期治療することで進行を防ぐことができます。

下記にあてはまる方は、**検査を受けることをおすすめします！**

- 閉経後の女性、50歳以上の男性
- 家族に骨粗鬆症や大きな骨折の既往歴がある方
- 身長が縮んだ・背中が曲がってきたと感じる方
- 骨粗鬆症治療中で経過観察を必要とする方

検査を受けたい方、詳しく聞いてみたい方はこちら！

- 骨折治療中の方は通院されている**整形外科**でご相談ください。
- 上記でない方は**かかりつけの内科、外科**でご相談ください。
- 特に定期通院のない方は、病院へ**電話**でご相談ください。



将来の骨折を防ぐために、**まずは正確な骨密度測定を！**  
お気軽にご相談ください。

日南病院  
電話：0859-82-1235



1月の巡回診療は『鏡開き』

1月21日（水）の巡回診療では『鏡開き』を行いました。お餅は小さく切って安全に配慮し、煎茶も準備しました。

この日は雪が吹雪くこともあり寒い日でしたが、集まってくださった皆さんと「おしるこ」をいただき、温まることができました。



ろれたも職が  
しかい助場た日  
くらにけでく南  
お頑優てすさ病  
願張しく°ん院  
いりいれみいは  
しまでてんて親  
すす友な素切な  
°°達と敵な  
よこみてな人



・看護補助者  
〔呼び名〕  
ヤニー

〔2月入職〕

しよ張放見か  
まろり射でし日  
すしま線きい南  
°くす業ると方  
。の務と々出  
願でを良の身  
い、ウいおで  
マで顔す。  
くすを  
頑ね拝懐



・診療放射線技師  
あしわやすはる  
足羽康治

■新入職員紹介■  
〔1月入職〕

診療体制表

令和7年5月1日～		月	火	水	木	金
内科	一診（予約制）	平原	谷口	上平	谷口	上平
	二診（予約制）	浜田	平原	永澤	浜田	永澤
	三診（予約なし）	永澤	上平	大塚	平原	谷口
	専門外来（予約制）	浜田 <sup>ベ</sup> ・スメカーチェック/ 物忘れ外来午後		谷口 禁煙外来		門脇（糖尿病内科） 第2・第4のみ
外科	午前	平岡	菅村	平岡	菅村	平岡
	午後	菅村	菅村	鳥大	菅村	菅村
整形外科（予約優先）						鳥大
小児科		鳥大	第3火曜(PM) 鳥大小児循環器外来			
耳鼻咽喉科					鳥大	
眼科（予約優先）				鳥大		鳥大
皮膚科			池原			
内視鏡・エコー（予約制）			永澤	谷口		

【3月】病児・病後児保育の  
受け入れができない日  
3月4日、11日、13日、17日  
お困りの際はご相談ください  
※病院が休診の土・日・祝日は利用できません。

巡回診療  
3月18日(水) ※第3水曜日  
[受付時間] 14時～15時30分  
つるぎ会館(上萩山)  
診察のない方も、お越しください。  
売店の出張販売もあります。

病院に対するご意見  
ご要望、広報誌に対す  
るご意見など、お待ち  
しています。  
入力フォーム



# 人間と動物の医療福祉を豊かにするために

ペットは大切な家族。でも、もしもの時はどうする？  
医療・福祉・動物愛護が手を取り合って考えました。



## 日南病院研修レポート

リハビリテーション科 科長 田辺大起



## 地域でペットと人が支え合う重要性

近年、ペットは家族の一員として、私たちの生活にかけがえのない存在となっています。特に高齢者の方にとって、ペットは心の支えとなり、生活に活力を与えてくれます。

しかし、高齢化が進むにつれて、ペットの世話が難しくなったり、飼い主さんの入院など、様々な問題も発生しています。地域全体で人とペットが安心して暮らせるように、支え合う仕組みづくりが求められています。

## 研修会の様子



今回の研修会には、獣医師や医療・福祉関係者、行政担当者、動物福祉に関わるボランティアなど、様々な立場の人が日南町に集まり行われました。

人間と動物の医療福祉について、医療・福祉、行政などがどのように連携できるか、意見を出し合いました。専門家からのわかりやすい説明や最新情報、グループでの話し合いを通して、飼い主さんとペットのことを考える良い機会となりました。

参加者からは「多職種連携による、立場を超えた協力の大切さを感じた」「地域での連携体制構築に向けて、具体的にイメージできた」といった声が聞かれました。

## 木山 獣医師 米子保健所

相談先がわからず悩むケースが多いです。「こんなこと聞いていいのかな？」と思わず、まずは保健所に相談してください。

ご本人やご家族との話し合いに私たちも入ることで、解決の糸口が見つかることがあります。保健所、医療、福祉、行政など遠慮せずに連携しましょう。

## 松本 様 人と動物の共生センター

飼い主さんが所有権を持ったまま、ボランティアが預かる「永年預かり制度」など、負担を減らす仕組みづくりが大切です。

また、外猫を増やさないための\*TNR活動など、地域全体で動物福祉を考えることが、回り回って人間の福祉(生活環境)を守ることにつながります。

\*TNR活動とは「野良猫を捕獲(Trap)し、不妊・去勢手術を実施し(Neuter)、その後自然に返す(Return)」ことを意味する単語、もしくはその活動自体を指します。

## 「顔の見える」連携を目指して

今回の研修会は「勉強になった」「またやってほしい」と大変好評でした。困ったときに「あの人に相談しよう」と思える関係づくりが、人間と動物、両方の命を守ることにつながります。日南病院はこれからも、地域全体の幸せのために活動を続けていきます。

## 退任医師あいさつ

内科 (総合診療専門医)

谷口 尚平 医師

今まで大変お世話になりました。日南病院には令和4年度から4年間勤務をさせていただきました。日南町には安東院長、高見院長の時代から作り上げられた地域医療の仕組みや文化があります。そのような環境の中で総合診療医としての地域医療の実践をさせていただき医師として貴重な経験を得ることができました。外来や病棟のみならず、訪問診療や巡回診療で町内を駆け巡り診療をさせていただきました。大雪の中、長靴を履いて診療をしたのも良い思い出です。

今後は日南病院での経験も活かし、微力ながら鳥取県内外の地域医療、総合診療の発展のために尽力させていただきます。来年度から4年間お世話になりました。来年度から週1回は非常勤として診療をさせていただきます。予定ではありますので、今後ともよろしくお願いたします。



内科

平原 有未 医師

谷口先生、平原先生、大塚先生お世話になりました。新天地でも頑張ってください！

このたび、異動により日南病院内科を退任することとなりました。令和5年4月から令和6年1月まで、また令和7年4月から令和8年3月までの間、町民の皆さまの診療に携わらせていただきました。毎日の診療でたくさんの方と関わらせていただいたことは、私にとって大きな経験となり、大切な思い出です。

皆さまからいただいた温かい言葉や笑顔に支えられ、日々診療を続けることができました。本当にありがとうございます。これからもどうかお元気で過ごしてください。

町のさらなる発展と皆さまの健康を心より願っております。



鳥取大学医学部地域医療学講座特命助教  
内科 大塚 裕真 医師

総合診療医として内科外来で、これまで多くの皆さまにお世話になりました。

2021年度には1年間常勤として勤務し、2024年度からは週1日、水曜日の内科外来で再び関わらせていただきました。2022年3月には日南病院を離れることになりました。残惜しい気持ちでいっぱいだったと記憶しています。その想いから再び戻る機会をいただけたことを大変うれしく思っていました。

日南町は温かい方が多く、顔を覚えて声をかけてくださる方もおられるような、来るたびに心が安らぐ場所でした。日南病院も各部署に素晴らしいスタッフがおられ、どこよりも安心して働ける環境でした。

2026年4月からは鳥取市内で在宅医療に携わる予定です。将来は県内で総合診療医の拠点づくりを目指しています。

皆様とは再びお会いできる日が来るかもしれませんし、来ないかもしれません。ただ感謝の気持ちだけはずっと変わりません。本当にありがとうございます。また会う日までお元気で。

